

バリアフリー

概要 高齢者や障害のある人をはじめ、だれもが安心して生活するためにさまざまとなるものをとりのぞくこと。バリアは、英語で障壁、壁を意味する。人はみな自由に移動し、平等に参加する権利をもっている。この権利を保障するためには、すべての人がともにくらしていける社会をめざし、道路や建物、公共交通機関など物理的な環境面だけでなく、一人ひとりの意識を変えていくことがもとめられる。

日本のバリアフリー バリアフリーという言葉は、1974年に国際連合が作成した報告書「Barrier Free Design」により知られ、使われるようになった。その考え方は、1950年代にデンマークで生まれた、障害者や高齢者が等しく生きる社会や福祉環境の実現をめざす「ノーマライゼーション」からきている。

日本では、1974（昭和49）年に東京都町田市が「車いすで歩けるまちづくり」を市政の基本として、全国に先がけて建物などに関する福祉環境整備要項を制定。1981年の国連国際障害者年をきっかけにバリアフリーが知られるようになり、1990年代には福祉のまちづくり条例を制定する地方公共団体がふえていった。

1994年に不特定多数の人が利用する建物にバリアフリーの設計を奨励する「ハートビル法」（「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」の通称）を、2000（平成12）年には乗り物のバリアフリーにかんする「交通バリアフリー法」（「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」の通称）が制定された。2006年にはこの2つの法律が統合され、「バリアフリー新法」が成立した。これらの法律や条例により、視覚障害のある人のために駅や道路に点字ブロックを設置したり、電車やバスの低床車両を採用したりするなどのさまざまなバリアフリー化がいつそう進められるようになった。また、トイレや自動販売機などさまざまな場所に取り入れられた。



階段を使わずに上り下りができるスロープ

障害者に関するマークの一例



補助犬同伴を受け入れる意味をもつほじょ犬マーク



障害者が利用できる場所にある障害者のためのシンボルマーク

さまざまなバリアフリー バリアフリーに必要なのは物理的な障壁をとりのぞくことだけではなく、社会の制度的な障壁もとりのぞく必要がある。盲導犬や介助犬をつれての入店をことわるなど、障害があるというだけの理由で社会参加の平等な機会を奪われないようにすることがもとめられる。

また、見た目だけでは、障害をもっていることがわからない人たちもいることを意識をする必要がある。障害のある人や高齢者に対しての心理的な障壁をとりのぞくことももとめられている。さらに、必要な情報がだれにも平等に得られるように文化・情報面の障壁をとりのぞくことも推し進められている。たとえば電車の車内で事故の放送が入っても、聴覚に障害がある人にはわからないので、文字情報も合わせて表示するなどの工夫や配慮がもとめられる。視覚障害のある人に向けて、パソコン上の文字を読み上げる音声ソフトなどさまざまな技術の開発が進んでいる。

これらの考えをさらに発展させ、だれもが不便を感じないものを最初からつくるという、「ユニバーサルデザイン」が生まれた。

NDC 369



乗降口に階段がなく、歩道との段差がほとんどない低床車両バス



視覚障害者が方向や位置を確認するための点字ブロック

バリアフリーじゅうたく 【バリアフリー住宅】 身体障害者、高齢者が安全、安心にらせる住宅。バリアフリーには、障壁をなくす、という意味がある。たとえば、つまずきやすい段差をなくす、廊下や階段に手すりをつける、床材や浴室をすべりにくい材料にする、浴室、トイレ（便所）などを温度差による体調変化（ヒートショック）がおこりにくいようにつくりにする。バリアフリーの家を建てたり、建材や用具をとりつけたい場合は、国や市区町村の助成金制度が利用できる。なお、「ユニバーサルデザイン」という用語があるが、これは、障害の有無、性別、年齢、人種に関係なく利用できるよう、障壁をなくすことで、バリアフリーより意味が広い。 NDC 369 | 524



バリアフリー住宅の一例。部屋の仕切り部分の段差がない（写真提供：カツマタ）

バリアフリーほう 【バリアフリー法】 2006（平成18）年に施行された、障害者や高齢者のスムーズな移動に向けた法律。正式名称は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」。バリアフリーにおいて、旅客施設や車両、道路や公園、建築物などの整備が推進されている。2020（令和2）年の改正では、公立小中学校のバリアフリー化を義務づけた。さらに、障害の有無などにかかわらず、たがいの立場を尊重する「心のバリアフリー」の浸透に向けて、学校教育と連携し、地域の啓発活動を進めていくことももりこまれた。 → 関連 基礎的環境整備 NDC 369

バリー、ジェームズ [Barrie, James] 1860～1937年。イギリスの劇作家、小説家。ジャーナリストとしてはたらくかわら、小説や戯曲を書き始める。喜劇『あっぱれクライトン』などにつづいて、1904年に上演した童話劇『ピーター・パン』で不動の人気を得る。そのほかの作品に、戯曲『妻は知る』『シンデレラにキス』などがある。 + 人物事典 ③188 NDC 233 | 930

パ・リーグ → パシフィックリーグ (12巻293ページ)

ハリーすいせい 【ハリーすい星】 → ハレーすい星 (13巻71ページ)

ハリー・トルーマン → トルーマン, ハリー (11巻302ページ)

「ハリー・ポッター」 イギリスの作家J・K・ローリングが書いた冒険ファンタジーシリーズ。魔法つかいの父と人間出身の魔女である母のあいだに生まれた少年ハリー・ポッターは、 Hogwarts魔法学校に入り、仲間とともに成長しながら両親を殺した魔法つかいに闘いをいどむ。イギリスで1997年に発表された第1作の『ハリー・ポッターと賢者の石』が大評判となり、世界各国で翻訳されてベストセラーになった。2007年に第7

作『ハリー・ポッターと死の秘宝』が出版され、本編の物語はいったん完結。2016年に、後日談をえがく舞台作品『ハリー・ポッターと呪いの子』の脚本が出版され、作者自身はこれを完結編としている。シリーズを通して2001年より映画がつくられ、いずれも大ヒットした。 NDC 933

ハリウッド アメリカ合衆国、カリフォルニア州ロサンゼルス北西部の地区。映画産業の一大中心地で、「映画の都」として世界的に知られている。雨が少なく、周囲にさまざまな景観があるなど、野外撮影に適していることから20世紀に入って多くの映画会社が集まり、映画を中心にした娯楽産業が発達した。



ハリウッドを象徴する「ハリウッドサイン」とよばれる大看板

映画スターのサインや手形のあるチャイニーズシアター、ろう人形館、ユニバーサルスタジオなど、映画にちなんだ観光名所が多い。 NDC 253 | 295 | 778

バリウム 元素記号はBa。原子番号は56。銀白色のやわらかい金属。天然には、重晶石（硫酸バリウム）や毒重石（炭酸バリウム）などの鉱物にふくまれている。工業的には、酸化バリウムとアルミニウムの混合物を真空中で1200℃に熱してつくる。水とはげしく反応して水素を発生する。黄緑色の炎色反応をしめすので、花火に用いられる。硫酸バリウムは水にとけにくく無害で、X線を通してにくいので、胃腸など消化器のX線撮影用の造影剤としてつかわれている。 学 元素の周期表 278

NDC 436 | 492 | 575

はりえ 【はり絵】 台紙とする紙の上に、さまざまな色の紙を指で細かくちぎったり、切ったりしてはりつけ、えがいた絵。児童教育にもとり入れられているが、はり絵画家山下清のちぎり絵でつくった作品などのように、芸術作品として評価されているものも多い。はるものは、色紙のかわりに布などをつかうこともある。 NDC 726

はりえおおかわ 【針江大川】 滋賀県の琵琶湖西岸、高島市を流れる小河川。高島市内の新旭町針江地区を北東に流れ、その後、水田地帯となる針江・深溝両地区の境界を通り、琵琶湖へそそぐ。針江地区は、比良山地からくる伏流水のわき水を利用する川端がのこっていて、「生水の郷」として知られる。川端でつかわれた水が水路に流され、その後、水路は針江大川に合流する。針江大川の水量の80%は川端からの水であるという。よごれた水を水路に流さない工夫がされているので、針江大川の水質はよい。 NDC 291 | 452 | 517

ハリエット・ビーチャー・ストウ → ストウ, ハリエット・ビーチャー (9巻76ページ)

ハリエンジュ → ニセアカシア (12巻116ページ)

？クイズ 「現在の青森県弘前市は、江戸時代には□藩の城下町として栄えた。」□に入ることは？